

2023 年度事業報告書

I 施設の設置・運営事業《公益目的事業》

WAC法に基づく施設(疾病予防運動センター・高齢者総合福祉センター・在宅介護サービスセンター・有料老人ホーム)の設置および運営。

☆ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 (厚生労働省 WAC 認定事業：1990 年 10 月 17 日付)

☆ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 (厚生労働省 WAC 認定事業：1994 年 12 月 15 日付)

※WAC(Well Aging Community)事業:

1989 年に厚生省(現厚生労働省)が「ふるさと 21 健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会福祉サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

① 疾病予防運動センター

「ニッセイ・アーク西大和」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 第 1 号施設)

- ・スタジオ、プールレッスンは、四半期毎にプログラムを展開。好評につき、ショートレッスン(ジムスモ)を増設した。
- ・季節に合わせたイベントやコラボレーション企画を実施した。(ハロウィン・クリスマス等)
- ・地域会員数増加を目指したポスティング活動について、上期はオリジナルチラシを商圈 5 km 内に 15,000 部、下期は 20,000 部に加え、折込チラシ 10,000 部を実施した。

「ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸」(ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 第 1 号施設)

- ・夏の「25 周年アニバーサリーキャンペーン」の実施で、7 月に総会員数 1000 名を超え、新規入会キャンペーンを実施したことで、次第に会員数も安定した。
- ・「脳トレ」イベントや、「ラジオ体操スタンプカード」、またランニング・ウォーキングイベント等を計画的に実施した。
- ・クラブ内での節電・節水等の削減策を実施した。

② 診療所

「ニッセイ聖隷クリニック」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 第 1 号施設付置診療所)

- ・春と秋の新型コロナワクチン追加接種を実施し、入居者、職員、地域住民で約 2,000 回の接種を行った。
- ・5 類移行後も発熱外来を継続し、約 400 名の抗原検査及び約 30 名抗ウイルス薬の処方を行ったことで、増収となった。
- ・特定健診・後期高齢者健診では年 2 回 DM を発行し、261 人(前年対比+22 人)となった。毎年減少傾向にあったが河合町住民向けに DM を発行したことにより前年より増となった。

「松戸ニッセイ聖隷クリニック」（ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 第 1 号施設付置診療所）

- ・新型コロナウイルスワクチン接種の実施医療機関として、入居者、職員へのワクチン接種を 7 回目実施する事が出来た。
- ・新型コロナウイルス PCR 検査、抗原検査等の検査体制は継続し、感染対策や診療継続に努めた。
- ・オプションとして例年行っている腹部エコー、胃透視、婦人科検診、C T 装置による肺がん検診は継続し、新たにサルコペニア健診項目を追加した。

③ 高齢者総合福祉センター

「ふれあいプラザ」（ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 第 2 号施設）

- ・新規講師を招聘しリニューアルした「大人のぬり絵講座」については、受講者の入れ替わりを経て定員 20 名に近い運営を継続している。
- ・およそ 4 年ぶりに開催した外出企画「宝塚観劇」、園内大ホールコンサート「世界一の口笛とマリンバコンサート」については大きな反響があった。
- ・広報紙「ふれあい西大和」は、年 4 号を各 5,000 部発行。毎号、入居者募集に関するお知らせ、ベテルホームの利用案内、ニッセイ・アーク西大和の会員募集を掲載した。

「ニッセイ松戸アカデミー」（ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 第 2 号施設）

- ・定期教室では、コロナ禍で休講していた教室の再開で、12 教室中、11 教室を開講でき、体験教室では入居者 8 名、地域の方 4 名に参加頂き、5 名の新規入会に繋げることができた。
- ・イベントでは、ロビーコンサートの再開や、イベント内容のバリエーションの拡大など、参加者増加につながった。
- ・情報誌「ニッセイエデン便り」は、年 4 回を各 50,000 部発行。イベントやアカデミー教室の案内以外に、募集セミナー案内や、「ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸」の会員募集および職員採用情報を掲載した。

④ 在宅介護サービスセンター

「ニッセイせいい在宅介護サービスセンターベル西大和店」

（ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 第 3 号施設）

- ・今年度もカレンダーを作成し、交流のなかった地域事業所への渉外活動を行った。
- ・ALS 難病利用者の病状の進行から、介護保険から障害福祉サービスに切り替えるなどしながら支援が続くように取り組んだ。

「ニッセイエデン ヘルパーステーション」（ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 第 3 号施設）

- ・災害・感染症時の業務継続計画（BCP）の策定や障害福祉サービスにおいて義務づけられていた虐待防止に関する指針等整備が進み、同時に登録ヘルパーを含む職員の研修の実施もすることができた。
- ・特定事業所加算取得を目標に定期的なヘルパー会議の開催、計画的な研修会の実施、記録の見直し等を進めることができた。

⑤ 有料老人ホーム

「奈良ニッセイエデンの園」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 第4号施設)

・一般居室の新規契約戸数は21戸、退去が22戸、介護居室への住替えは8戸となった。その結果、年度末の介護居室を含めた入居契約戸数は399戸(総戸数412戸に対し入居率96.8%、入居者数515人)となった。

(一般居室351戸/362戸(入居率97.0%)、介護居室48戸/50戸(入居率96.0%))

・入居者の平均年齢は82.8歳(男性81.8歳、女性83.3歳)となり、対前年-0.1歳であった。

・総入居者数515人のうち要介護等認定者数(割合)は年度末で143人(27.8%)となった。

・地域連携について、日本生命女子卓球部「レッドエルフ」から選手・監督を招聘し、「ふれあい卓球教室」を開催。

入居者と地域会員でつくるエデン卓球クラブ20名・河合第2中学校女子卓球部の生徒25名が参加し卓球を通じた地域交流・世代間交流を図った。また、虹のわの活動として、かがやきの森幼稚園、河合第1、第2小学校との交流を継続した。

・終末期まで自分らしく生きる支援が行えるように、入居者本人の思いを身元引受人も交え、多職種とともに話し合う場「人生会議」の推進を継続し、11件実施することができた。人生会議手帳を作成し全入居者に配付。意向確認とデータベース化および意向の更新について、職場横断的なプロジェクトとして取り組むことができた。

・採用困難課題の解決に努め、外国人留学生の新卒内定5名。賃貸物件の探しや保証人の設定について、総務担当者がサポートしスムーズな就労に寄与している。

・大食堂での顔認証システム運用を開始した。カード持参不要となり入居者至便に寄与している。

・見守りシステムの導入により、巡視回数を2時間に1回から4時間に1回へと変更し、業務効率化が進んだ。

「松戸ニッセイエデンの園」(ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 第4号施設)

・一般居室の新規契約戸数は鍵渡しベースで24戸、退去が25戸、介護居室への住替えは13戸となった。その結果、年度末の介護居室を含めた入居契約戸数は331戸(総戸数358戸に対し入居率92.5%、入居者数412人)となった。(一般居室292戸/315戸(入居率92.7%)、介護居室39戸/43戸(入居率90.7%))

・総入居者数412人のうち要介護等認定者数(割合)は、年度末で115人(27.9%)となった。

・10月より管理費の値上げ改定を実施した。

・開園から26年を経過し、外壁修繕など、計画的な大規模修繕工事を開始することができた。

・カスタマーハラスメントへの対応とカスタマーハラスメント周知活動を実施した。

・コンサートなど5月から外部の方も参加可能としたが、エデンだよりにて地域に告知し、地域全体にコロナ禍からの回復の雰囲気づくりに貢献できた。

・地域清掃活動(年2回)、松戸市社会福祉協議会とのフードバンク活動(年2回)を実施した。

Ⅱ 調査研究事業 《 公益目的事業 》

① WAC 事業の展開の中で、高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の4分野(以下「4分野」という)に関するノウハウ・スキルの研究と成果の情報提供

- ・長引くコロナ禍の影響で、高齢者の交流も減少傾向にあることを踏まえ、京都大学の協力を得て、「高齢期におけるスマートフォン活用の効果に関する実証研究」を奈良ニッセイエデンの園で実施。高齢者 20 名を対象にスマートフォンを貸与し、年間通じて2週間に1回のペースで講座を開催し、スマートフォンの活用方法等を共有し、「ICT機器活用促進」や「QOL 向上」の効果検証を行った。
- ・聖隷福祉事業団・日本老人福祉財団と共催する「有料老人ホーム実践研究発表会」にて、各施設の研究成果を通じて情報共有を行い、より入居者に満足いただける施設運営を模索した。

② 地域住民等への4分野に関する情報提供活動の実施

- ・有料老人ホーム等の高齢者施設の情報提供の一環として、4分野に関わるテーマによるイベントやセミナーを開催するとともに、高齢者の理解と援助を推進する外部イベントへ参加した。
- ・11月の「介護の日」では、奈良・松戸両施設内にて介護イベントを開催し、地域高齢者およびその家族に向けた介護・医療・福祉の知識向上への取組みを継続した。

Ⅲ 奨学金助成事業 《 公益目的事業 》

介護事業を担う人材の育成を支援する観点から、介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を目指す学生に奨学金を支給した。

2020年度より、日本語学校に通う外国人留学生で介護福祉士等を目指す学生に対して、助成対象を拡大。コロナ禍による応募減少等を踏まえ、2022年度は休止したが、2023年度より再開した。

Ⅳ 施設の設置・運営事業 《収益事業等 その他事業1》

個々人の健康状態及び体力に合わせた適切な指導のもとで、運動、機能訓練を行うための施設を設置、運営し、健康維持、疾病予防に資するための事業のうち、60歳未満の利用者を対象とするもの。

① 疾病予防運動センター

「ニッセイ・アーク西大和」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 第1号施設)

- ・スタジオ、プールレッスンは、四半期毎にプログラムを展開。好評につき、ショートレッスン(ジムスモ)を増設した。
- ・季節に合わせたイベントやコラボレーション企画を実施した。(ハロウィン・クリスマス等)
- ・地域会員数増加を目指したポスティング活動について、上期はオリジナルチラシを商圏5km内に15,000部、下期は20,000部に加え、折込チラシ10,000部を実施した。

「ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸」(ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 第1号施設)

- ・夏の「25周年アニバーサリーキャンペーン」の実施により、7月に総会員数1000名を超えた。新規入会キャンペーンを実施したことで、次第に会員数も安定した。
- ・「脳トレ」イベントや、「ラジオ体操スタンプカード」、またランニング・ウォーキングイベント等を計画的に実施した。
- ・クラブ内での節電・節水等の削減策を実施した。

V 施設の設置・運営事業《収益事業等 その他事業2》

公益目的事業における介護を必要とする高齢者の家庭生活支援を目的とした施設（在宅介護サービスセンター）のサテライト拠点、また当該施設と関連・連携する医療、介護等各種施設の設置及びこれらの事業。

① 介護老人保健施設

「奈良ベテルホーム」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 併設施設)

- ・5 類移行後も全職員で危機感と緊張感を持ち続け、面会制限を始めとした感染対策の緩和を行いつつ、安心・安全なサービス提供に取り組んだ。
- ・通所リハビリテーションでは、これまで家族と書面でのやり取りで実施していたリハビリマネジメント会議を5月より対面での開催に変更した。直接自宅での様子や希望を聞くことができるようになり、より利用者ニーズに沿った個別リハビリが提供できるようになった。
- ・利用者家族と在宅復帰に向けた話し合いを重ね、多職種で退所前後の自宅訪問を積極的に実施し、安心・安全な在宅復帰に取り組んだ。
- ・6月からリハビリ室に言語聴覚士が加わり、嚥下評価に基づいた経口摂取機能の維持・向上に多職種で取り組んだ。
- ・3月に見守りシステムを導入することができた。
- ・SDGsの取り組みとして、古着回収によるポリオワクチン寄贈（古着 de ワクチン）20.3 kg、使い済みカイロ 15Kg、使用済み切手 1,150 枚を回収。

② 訪問看護ステーション

- ・自宅での看取り件数は8件、介護力が十分でないケースに対して昼夜の緊急対応を提供することで看取りまで支援することができた。また、グリーフケアを再開し、遺族の喪失感、悲嘆に寄り添うことができた。
- ・災害・感染症時の事業継続計画（BCP）を策定し、スタッフに説明を行い、西和地区の各病院、地域の訪問看護ステーションと連携し足並みを揃えて運用する取り組みを継続実施した。

③ ケアプランセンター

「ニッセイせいのけあプランセンター西大和」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 併設施設)

- ・毎月の件数と特定事業所への集中度を可視化、職場会で毎月共有し、利用者増と特定事業所集中度が80%以下になるよう意識的に取り組むことができた。
- ・入院時連携や退院前カンファレンス、各種研修会、地域ケア会議・河合町ケアマネネットワーク会議等に参加し、地域包括支援センターや他事業者と協働することができた。